



志布志市立有明中学校 学校だより

い ち ょ う



公孫樹



令和7年10月17日(金)発行



↑有明中 HP

何のために勉強するのか

校長 田中 純朋

「何のために勉強するのか」。疑問に思ったことはありませんか。中学生に問いかけると、「高校入試に合格するため」という答えが多く返ってきます。短期的な目標としては、それも正しいでしょう。高校生になったら、「大学入試や資格試験、就職試験に合格するため」と答えが変わっていくかもしれません。しかし、高校や大学を卒業して、働き出してからも一生学び続けていきます。「何のために勉強するのか」私もこれまでずっと考え続けてきました。そして最近、「これだ！」という二つの答えにたどり着きました。一つは、「賢くなるため」です。そんなの「当たり前」だと思うかもしれません、大切なのはその先です。「賢くなるために、色々な知識を身に付け、何か問題が発生したときに、正しい判断ができるようにするため」です。知識が増えれば増えるほど、より良い判断ができるようになります。そのために勉強するのです。もう一つは、「自由になるため」です。知識が乏しいと、他人に言われた通りにすることしかできませんが、知識が身に付いてくると、自分の行動を自分の意志で決定できるようになってくるのです。そのために自ら学び、考え、行動できるようにならないと自由に生きられないのです。そこで、有明中学校の学校教育目標は、「豊かな心で 自ら学び 考え 行動できる生徒の育成」です。まさに、このことにぴったりです。「賢くなるため」また、「自由になるため」にこれからも学び続けていきましょう。

さて、文化祭と合唱コンクールが近づいてきました。先日、全校朝会で紹介した沖縄県の宮古高校の話を学校便りでも紹介したいと思います。右の写真は、宮古高校の合唱祭の様子です。全員サングラスをかけていて異様な雰囲気ですね。この時歌った曲は尾崎豊



の「15の夜」でした。確かに曲のイメージに合っているような気もしますが、実はこのサングラスには理由がありました。このクラスのある女子生徒が、中学校の時に接種したワクチンの副反応で、光に敏感になりサングラスが手放せなくなったのです。それ以来体調も優れなくなり、学校を休む日も増えていました。そして、合唱祭の練習が始まった頃、合唱祭には出ないつもりだったこの女子生徒に、友達が一緒に歌おうと誘い練習を始めます。ある日の放課後、「サングラスで本番に出るのはイヤだな」と不安をこぼしたところ、周りにいた生徒たちは、「じゃあ、みんながサングラスで出ればいい」と言ってくれました。そして当日、全員が親や祖父母からサングラスを借りて、本番を迎えることになりました。合唱は大成功し、終わった後クラスメイトから、「ありがとう。おかげでクラスが一つになれた。最高のクラスになったね！」とこの女子生徒は声をかけられました。有明中でも、このようにクラスや学校が一つになれるような、文化祭や合唱を期待しています。残りわずかですが、みんなで大きな感動を得るために、練習を頑張りましょう！

表彰	県下夏季ジュニア弓道大会 第68回県児童生徒作文コンクール市審査会 中学生の「税についての作文」	男子団体 準優勝 特選1人 入選3人 曾於地区納税貯蓄組合連合会優良賞1人	個人 5位
----	--	---	-------

【第80代 生徒会】

スローガン

『日進月歩』

～挑戦の積み重ねが、新しいステージへ～

9月22日(月)に生徒会役員を選出する立会演説会及び投票がありました。これまで、給食時間での応援演説や登下校でのあいさつ運動といった選挙活動が展開され、選挙管理委員会が準備を進めてきました。立会演説会では、立候補者が自身の目指す学校像を分かりやすく堂々と発表し、聴衆も真剣に耳を傾けました。校長からは、学校をさらに良くするための大変意味のある時間だったという話がありました。その後、実際の選挙で使われる記載台と投票箱を用いて投票が行われ、充実した会となりました。投票の結果と生徒会本部からの希望により、右記に記載されているようになります。



全校「いじめ撲滅宣言」唱和

生徒会長	生重機一
生徒会副会長	杉山ひより
生徒会副会長	岩崎愛音
生徒会書記	種子田快晴
生徒会会計	猜野友心

学習部	浜松マリア	吉川愛美
生活部	岩本彩葉	山川竜輝
文化部	樽口真心	緒方咲希
美化部	平川綾真	萩迫一花
保育部	櫻川幸来	今西琉斗

グループ討議の様子



また、10月16日(木)は後期生徒総会があり、引継ぎがなされました。協議では『いじめ撲滅サミット』で「SNSによるいじめを無くすにはどうすれば良いか」をグループ討議で行い、各クラスで話し合い今後の取組について発表を行いました。最後に、「いじめ撲滅宣言」を

全校生徒で唱えて終了しました。短時間でしたが、みんな真剣に考えた「いじめ撲滅サミット」となりました。

【曾於地区中学校総合体育大会】

7日(火)・8日(水)に、「曾於地区中学校総合体育大会新人戦」が開催されました。学校からは「サッカー」「女子バレー」「女子ソフトテニス」「弓道」が出場し、地域クラブからは「剣道」で参加しました。「柔道」「バドミントン」は肝属地区で参加しました。3年生が引退し、新体制となったチームにとって、初めて挑む公式戦であり、今後の成長やチームの方向性を占う大切な機会となりました。



本校サッカーチーム

競技	成績
弓道 男子	団体優勝 個人優勝 3位
弓道 女子	団体4位 1年個人優勝
女子ソフトテニス	団体3位 個人ベスト16
女子バレー	団体5位
サッカー	優勝(志布志中・宇都中合同)
剣道 男子	団体5位 個人ベスト8敗退
柔道 男子	個人55kg 3位
女子バドミントン	個人ベスト16

【発達段階に応じた子育てのポイント】

志布志市では子どもの健全育成のために「志アップ 子育て手帳」を各家庭に配付しております。子どもへの接し方は、成長していくにつれて変わっていくものです。その子にとってふさわしい形で接することが必要です。右はP18に記載されている内容を掲示します。有益な資料が多く掲載されているので参考にしてください。

11月行事予定		
1 土	鹿児島の教育「県民週間」(～7)	
3 月	祝 文化の日	
4 火	生徒朝会 スクールカウンセラー(倉ヶ崎)来校	
5 火	避難訓練	
7 金	3年PTA	
8 土	土曜授業	
10 月	5時慰安授業 ノー部活動Day	
11 火	全校朝会 2年高校見学(志布志) 3年第三者面談(～21)	
18 火	学年朝会	
20 木	スクールカウンセラー(倉ヶ崎)来校	
21 金	2年高校見学(尚志館) 1・2年教育相談(～28)	
23 日	祝 勤労感謝の日	
24 月	振替休日	
25 火	中学校入学説明会	
26 水	生徒会専門部会 テスト前部活動中止 家庭学習協調週間(～12/1)	
部活動終了時刻		17:30

～親として～

- 個人差は大きありますが、思春期の入口です。こどもの自我を尊重するようにしましょう。
- こどもができることや役割を決め、手をかけ過ぎず行動を見守りましょう。
- 良さや頑張りを認めて褒め、自信を持たせましょう。
- パソコンやスマホ、ゲーム機などの便利さの裏に潜む「影の部分」を教えていきましょう。
- 依存症による健康被害も出ています。使用の際の約束を決め、特にスマホについては、フィルタリング機能を設定させるのは親の義務です。
- 家族で一緒に食事作りをしながら、バランスのよい栄養について関心をもたせましょう。
- 親が読書をする姿は、こどもによい影響を与えます。また、新聞を読む習慣をつけ、記事を話題にすることで、視野を広げていきましょう。
- 瞬発力や素早い動き、スポーツへの適応力、判断力は、この時期に鍛えると効果があると言われます。運動能力や体力がバランスよく発達、向上するように、家庭でも遊びや野外活動を通して運動に親しめるような環境をつくってあげましょう。

【中学校期】

～こんな時期です～

甘えや反発など幼い心を引きずっている反面、一人前でありたいという自我意識に芽生え、自立へ向かう時期です。心身ともに成長期となり、大きく変化していきますが、不安定で個人差も大きくなります。また、遠からず、近からずで見守りが必要です。

～親として～

- 親子の語り合い、ふれあいが大切です。
- こどもを信じ、認めつつも、社会のルールと方向性をしっかり理解させていくことも大切です。
- こどもとしっかりと向き合い、語り合う時間を持つことが必要になってきます。
- 朝、自分で起床して一日をスタートさせることを意識させ、しっかり朝食を摂らせましょう。朝食には体内時計を整える役割があります。
- 読書は、多様な人の考えを知ることができます。本を読む生活を習慣化し、読んだ本について話題にする時間をとり、こどもの読書意欲を高めましょう。
- スマホ・ネット等からプライバシーを守ることは、生命の安全につながります。セキュリティ設定を活用し、個人情報の漏洩に気を付けさせましょう。